

創刊号&2号 合同合評会

『新社会学研究』を研究する！ ～特集は魅力的か？ターゲットはつかめているか？～

社会学の今を考える！同人誌の未来を考える！

社会学の方法間交流・世代間交流に関心のある方来たれ！未読者歓迎！どなたでもご参加いただけます。

内容

研究者・読者による報告と討論（創刊号と2号の即売会付き）

日時

2017年12月1日（金） 18：30～20：30（受付18：15～）

場所

関西学院大学大阪梅田キャンパス 1002室 アプローズタワー10階（ホテル阪急インターナショナル）（阪急「梅田駅」茶屋町口より北へ徒歩5分 JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分、地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分）

※ 会場のウェブサイト

[https://www.kwansei.ac.jp/kg\\_hub/access/index.html](https://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/index.html)

登壇者紹介

宮本 孝二（桃山学院大学）専門分野：理論社会学

井口 高志（奈良女子大学）専門分野：福祉社会学

松浦智恵美（立命館大学＝大学院生＝）専門分野：看護学

三浦耕吉郎（同人・関西学院大学）専門分野：差別論

檜田 美雄（同人・神戸市看護大学）専門分野：知識社会学

プログラム

18：30 編集同人によるあいさつ

18：40 研究者報告1（宮本孝二）

19：00 研究者報告2（井口高志）

19：20-59 同人によるリプライと討論1

20：00 読者報告1（松浦智恵美）

演題：看護専門職からみた『新社会学研究』

20：10-25 討論2

20：30 終了（終了後に懇親の予定あり）

(注)

『新社会学研究』は、社会学一般の研究誌として、新曜社から、2016年秋に創刊されました。年刊の同人誌です。

創刊号・2号ともに、現地で著者割での販売をします。

3号の公募特集は「今、地域を考える」で11月21日締切です。

諸情報は、下記サイトにあります。

<http://www.bigcosmic.com/board/s/board.cgi?id=JS2016>

および

<http://www.shin-yo-sha.co.jp/mokuroku/books/978-4-7885-1503-1.htm>

後者の新曜社のサイトには、「試し読み」ボタンあり。

連絡先：榎田 美雄 (kashida.yoshio@nifty.ne.jp) TEL 070 (5681) 4143

主催 : 『新社会学研究』編集同人

後援 : 新曜社

----- 以下は、2号の概要 (11月初旬刊行予定) -----

書名：新社会学研究 第2号

編者名：三浦耕吉郎・小川博司・榎田美雄・栗田宣義・好井裕明 編

判型・製・頁・価格(税込)：A5判並製・224頁

ISBN：978-4-7885-1496-6 c 3036

「市民社会における不幸に係わる自己認識の科学」たる社会学本来の姿に立ち戻り批判と提言を目指す学術誌が第2号を迎えました。特集「映画を読み解く社会学」では、ポストヒューマン時代の恋愛、女同士の親密性の可能性、70年代と現代の核のリアリティ、ポスト震災20年の想像力、別離物語における愛の提示、原爆映画の社会学が論じられ、公募特集「生活者の社会学」では、サバイバルゲーマー、台湾人日本文化愛好家、戦災復興時の市民、市場原理主義を負わされる女性といった多様な生活者に迫ります。看取り・映画・ファッション誌・査読などを論じる連載9篇も所収し、ますます社会学の広がりを実現する本誌にご注目ください。

-----